

好評連載

住設リフォームガイド

現調・施工実績35万件以上！メガボックスの住設ソムリエが直伝！

1日に数十件とバス・キッチンの現場調査と工事を手掛けるメガボックスの住設ソムリエたちが、これまでに培ってきた住設リフォームの知恵と技術をお伝えします。



メガボックス 小川 義弘さん

住設ソムリエチームの上級マネージャーとして年間1400件以上の現場調査に従事。前職のビルメンテナンス業務中に代表に選ばれ住設業界へ転職。持ち前の明るさと人懐こさで個人様、プロ業者様、バス・キッチン職人にも信頼があつた人気の住設ソムリエとして指名も多数！今月12日に挙式を終えたばかりの新婚という事もありバリバリ活躍中！！

第4回

失敗しない採寸の方法

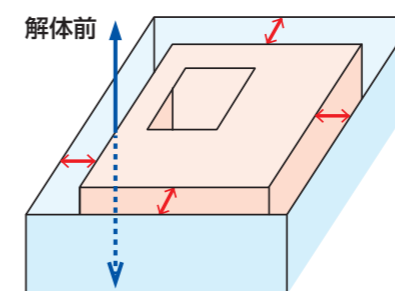
目に見えない設置スペースの採寸が鍵

初めまして！今回の「住設リフォームガイド」は、住設ソムリエ上級マネージャーの小川が担当させていただきます！劔岳の山小屋スタッフとして働いていた事もある山男、そして新婚ホヤホヤの私が「システムバスの採寸」について解説します！

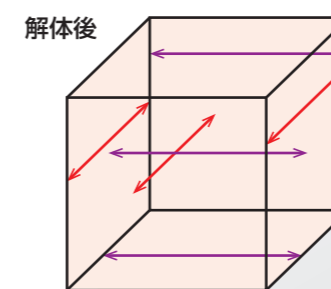
現場調査の採寸は大きく2種類に分けられます。一つは「事前の現場調査」。既存の浴室が残っている状態での採寸です。少しでも浴室を広げるには、「目に見えない」外側の設置スペース寸法が重要になります。そしてもう一つは、「解体後の採寸」です。設置に必要な寸法が確保できているかをチェックします。

正確な採寸で空間の無駄を無くす事は大切ですが、失敗すると商品は再発注や加工が必要になり工事もストップ！お客様の生活に多大な迷惑をかけてしまいます。採寸は施工段取りに重要なスキルと心得、慎重に行いましょう。今回は採寸を成功させる3つのポイントをお伝えします。

①解体前と解体後に採寸する



より商品提案のために、スペースの余白を把握することが大事



一箇所ではなく必ず数箇所の寸法を取る様に心掛けましょう

音や感触にも敏感に

解体前の採寸では、新しいシステムバスが収まるか判断する為、天井点検口からスケールを当てます。床下の状態を探る為、システムバスの天井から浴室と構造部の隙間にスケールを落としたり脱衣所床下収納を開けたりと、採寸のヒントになりそうな部分は全て確認しましょう。大事な事は『スケールの先が今どこを通過して何に当たったか？』を音や感触、落としたスケールの長さからイメージする事です。

最初は時間をかけて丁寧に！

解体後の採寸では、必要な設置寸法が確保できているかをチェックします。スケールはまっすぐに当てる意識を持ちましょう。この時、スケールが曲がっていたりヨレたりしていると正確な採寸が出来ないので注意してください。最初は時間をかけてでもミリ単位で正確に採寸し、記録するように心がけましょう。また商品の必要寸法や仕様を理解することも大切です。

メガボックス株式会社

事業内容：住設リフォーム支援企業、住設エージェンシー事業、B2B住設リフォームサービス事業、リフォーム・リノベーション事業、住設ネットリフォームショップ「リリパ」運営
<http://www.rerepa.jp/>
リリパ(楽天・Yahoo!ショッピング・Amazon)

所在地：神奈川県横浜市青葉区市ケ尾町1170-1
創業：1985年・設立：1992年3月13日
代表者：代表取締役 小林哲也

住設ソムリエ絶賛募集

②見えない箇所は予想を立てて現調する



解体すると隠れていた配管や逆梁があるのがわかる。



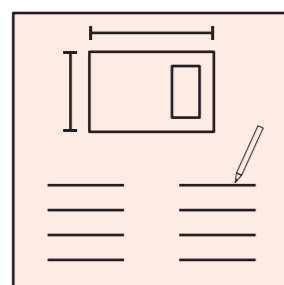
見えない箇所をいかに想像できるかが大事！

見えないリスクは事前に説明

逆梁や壁裏、床下の配管など、サイズアップする為に考えられる見えない部分のリスクも事前に説明できるようにしましょう。

物件の構造自体の倒れや捻れ、矩が悪い為に寸法は確保できていても商品が収まらないケースがあります。商品寸法+クリアランスは必ず確保するようにしましょう。

③フォーマットの活用で測り忘れを防止



オリジナルのフォーマットを作ってメモを取るクセをつけよう。

「記憶」よりも「記録」を心掛ける

現場調査では、お客様や他の業者と打ち合わせをしながら短時間での採寸が求められますが、そんな時でも自分のペース・採寸順番は乱さない事を心掛けてください。

ある程度件数を重ねると、測らなければいけない箇所や効率の良い順番がパターン化されてくるはず。私の場合は事前に用意したフォーマットを現地で上から順に全て埋める事で測り忘れを予防しています。皆さんも測る順番や記録方法は色々試してみてください。

メガボックス 小川さんのワンポイントレッスン

メモ代わりに！
報告用に！



現場写真の大切さ

『あれ？ここどうだったっけ？』『もう現場を離れて確認に戻れない』etc.現場調査後のうっかり忘れは誰しも必ずあると思います。そんな時に有効なのが現場写真の撮影です。忘れ防止はもちろん、その場で解決できない事を持ち帰って調べる際に便利です。また、施工時に肝になると感じた所や設備接続部

等の『要所』を完了報告時に添付、管理する事で会社としての信用・責任能力のUPにも。もしもの時には動かぬ証拠にもなり、実際に写真が決めてとなりトラブルを回避できたケースも多々あります。携帯カメラの普及・小型化により誰でも手軽に鮮明な写真を撮れる時代。是非、現場写真を有効活用しましょう。



自社で作成している新人用の現場調査マニュアルからエッセンスを紹介します。